



一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

平成29年5月 マンスリー レポート

集計企業数 **55** 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	58,656,343 万円	100.0%	101.1% (103.0%)	56,105,621 万円	99.5% (101.2%)
食 料 品	49,743,068 万円	84.8% (84.7%)	101.1% (103.0%)	48,000,911 万円	99.8% (101.4%)
農 産	7,465,521 万円	12.7% (12.8%)	98.4% (102.4%)	7,196,300 万円	97.1% (100.8%)
水 産	4,616,116 万円	7.9% (8.1%)	98.3% (101.5%)	4,437,047 万円	96.8% (99.7%)
畜 産	6,359,737 万円	10.9% (10.7%)	103.3% (104.1%)	6,116,602 万円	101.6% (102.2%)
惣 菜	5,690,548 万円	9.7% (9.8%)	102.5% (104.6%)	5,471,150 万円	100.8% (102.5%)
日配食品	11,163,517 万円	19.0% (18.6%)	101.0% (102.4%)	10,837,740 万円	99.8% (101.0%)
加工食品	14,447,629 万円	24.6% (24.7%)	102.1% (103.1%)	13,942,072 万円	101.1% (101.9%)
生活関連	3,680,987 万円	6.3% (6.5%)	99.3% (101.7%)	3,577,130 万円	99.8% (100.9%)
衣 料 品	1,806,097 万円	3.1% (2.9%)	99.9% (101.4%)	1,698,281 万円	98.1% (99.3%)
そ の 他	3,426,191 万円	5.8% (5.9%)	103.4% (106.0%)	2,829,299 万円	95.7% (99.5%)

② 数 値

全店総売上高	58,656,343 万円	店 舗 数	4,600 店舗
総売場面積	9,185,109.8 m ²	総従業員数	248,205 人

店舗平均月商	12,751.4 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,839.1 円 (98.0%)
月間m ² 売上(前月)	6.4 万円 (6.2 万円)	平均店舗面積	1,996.8 m ²
月間坪売上(前月)	21.1 万円 (20.6 万円)	パート比率(前月)	77.7% (77.8%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 5月の天候環境は、月間の日照時間が多く、晴れの日が多かった。気温は全国的に月平均気温はかなり高かったが、中旬以降は、前年並みか、前年をやや下回る日が多かった
- ・ 生鮮品の相場状況は、青果物は、野菜、果実ともに概ね安値傾向。畜産物では、国産鶏肉が前年より高値で推移した
- ・ 前年と比べ、水曜日が1日多く、日曜日が1日少ない曜日廻りだったため、売上へはマイナスの影響を与えた

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ 気温の上昇に伴いサラダ需要が高まり、「トマト」や「きゅうり」、「カットサラダ」などのサラダ材料野菜は概ね好調も、前月に引き続き「アスパラガス」が供給不足により不調であった
- ・ 旬を迎える「青梅」や「小梅」、「らっきょう」などの漬材は、天候影響による育成不良と入荷遅れにより不調であった
- ・ 国産果実は、「柑橘」類が好調であった一方、「すいか」や「メロン」は好不調が分かれる結果であった
- ・ 輸入果実は、「キウイフルーツ」や「ぶどう」が概ね好調、その他においては「カットフルーツ」が好調であった

○ 水産

- ・ アニサキス報道の影響により、生魚全般買い控えのコメントが多く、「初かつお」は好不調が分かれた
- ・ 「するめいか」など大衆魚不漁の影響による販売不振が続く一方、「まぐろ」の好調が続いている
- ・ 「干物」、「ちりめん」などの塩干類は比較的好調であった

○ 畜産

- ・ 各畜種とも概ね好調であったほか、加工肉は売上回復傾向がみられる
- ・ 牛肉は、ゴールデンウィークから母の日に向け、「焼肉・BBQ用」が好調だった他、ローストビーフ用途としての「ブロック肉」の動向が良かった
- ・ 豚肉は「冷しゃぶ用」が順調な動向を示した。気温環境によるところが大きい

○ 惣菜

- ・ ゴールデンウィークの行楽や、簡便ニーズによる「弁当・丼」などの米飯類が好調だった
- ・ 気温上昇により、「涼味麺」や「枝豆」などの涼味関連、「唐揚げ」、「フライ」といった調理済み商品の動向が良かった。

○ 日配・加工食品

- ・ 日配は、トレンドの「冷凍食品」と、メディアで取り上げられた影響により「甘酒」が好調であった一方、「ヨーグルト」や「梅干し」はブーム裏年のため不調であった
- ・ 「豆腐」、「ところてん」、「麺類」や「アイスクリーム」などの涼味関連は好不調が分かれた
- ・ 加工食品の季節品は、気温環境により「素麺」「飲料」の動向が目立ち始めたが、漬材の関連品は伸び悩んだ
- ・ 菓子は「ポテトチップス」の品薄が続いたため、他のスナック菓子やチョコレート、和洋菓子で売上をカバーした
- ・ 6月からの酒税法改正に伴い、月後半からはビールなど酒類の特需がみられた

○ 春の行楽、GW、こどもの日のマーケットについて

- ・ メニュー提案においては、「焼肉」「BBQ」や「手巻き寿司」「ちらし寿司」の取り組みが多く、概ね好調だった
- ・ 「柏もち」「ちまき」などの和菓子はやや不調であった

○ 母の日マーケットについて

- ・ 本年の母の日は、ゴールデンウィーク翌週となったため、母の日商材が売り込み易かった
- ・ 「カレー」、「サラダ」、「パスタ」、「寿司」といった定番メニューに加え、「ローストビーフ」のメニュー提案が増え、「ワイン」や「チーズ」とともに概ね好調であった
- ・ 「フラワーギフト」は不調であったとのコメントが多かった

以 上